

ひかりのこ

11月園便り

聖ミカエル幼稚園
2015年10月22日

月主題：ありがとう

ついこの間まで半袖で過ごせていたのに、北海道の秋は駆け足でやってきます。この分では、あっという間に冬になっていくことでしょう。でも、札幌は今紅葉の季節。街路樹も公園の木も幼稚園の木もきれいな赤や黄色のグラデーションに染まっています。いつもの何気ない場所も、神様がとても素敵に飾り付けをしてくださって、朝夕の通勤中も目を楽しませてくれます。どうぞ皆さんも幼稚園の行き帰りに、お子さんと一緒にこの神様の恵みを楽しんでくださいね。

さて、いよいよ今週は生活発表会。幼稚園の日頃の保育の様子を皆さんにお見せします。らいおんさんの組体操、きりんさんの絵本あそび、ばんださんの歌と楽器、そして3年間の集大成、年長さんの縄跳び&ダンス。どの演目も子ども達と担任の先生、補助の先生方の努力のたまものです。でも苦しい努力ではなく、子ども達はこの発表会をとっても楽しみに目標をもって頑張っているようです。

先日、らいおんさんの子ども達に、「園長先生、らいおん組の発表のこと、ほかのクラスにはまだ内緒にしてね。」とこっそりお願いされました。どのクラスもクラスだけの秘密があって、みんなをびっくりさせようとワクワクしながら練習をしていたようです。

そして火曜日に行われた、総練習。子ども達はお互いに見せあっこをして、とても楽しんでいました。観覧を希望された年中少組のお母さん方も、「おー!」「すごーい!!」と驚かれ、大きな拍手をくださいました。

子ども達の成長の仕方はつくづく面白いなあ、と思います。3歳ぐらいまでは自己中心的にしか物事を見えなかったのが、4歳ぐらいから「自分」に対する「他人」を意識するようになります。「自分」の中に他人の存在を取り込んで、「自分」を作っていくようになります。

まさに、今子ども達は、お友達や先生を意識し、真似、協力しながら、それを自分のものにしていっているのです。

総練習を見ていると、「ああ、成長したなあ。」と感動します。いちご組さんや、赤ちゃんの時から知っているお子さんなどは、「あんなに泣き虫だったのになあ。」「おもちゃを全部ひっくり返していた子がこんな立派に…。」と涙が出てきます。

お父さん、お母さんたちの愛情の中にいるからこそ、子ども達は大き

くなるのでしょう。

その成長と一緒に見ることのできる、保育という仕事は、本当に幸せな仕事だと思います。

明後日の生活発表会、お子さんの成長した姿をどうぞ楽しみにしてください。

園長 渡部良子

キリスト教保育

「バザーを終えて」

9月27日、今年のバザーは終了間際にとんでもない豪雨に見舞われましたが、何とか行うことができました。教会にとっても、幼稚園にとっても、たくさんの方々のご協力がなくては成り立たない一大事業でした。特に幼稚園では、早くからクラス役員のお母様方が毎日のように幼稚園でご準備くださいました。その他にも多くの皆様のご支援、ご協力をいただき、教会を代表して改めて感謝を申し上げます。

ミカエルバザーは、毎年9月29日、世界の教会が「聖ミカエルおよび諸天使の日」という移動祝日を祝うのに合わせ、直近の日曜日に行われています。教会は古くから、イエス様の行いにならって弱い立場に置かれた人々への眼差しを大切にすべく、様々な取り組みを行ってきました。教会によっては日常的にボランティア活動を行うところもありますが、少人数や高齢化の影響もあって、バザーをそのような機会としているところが多くあります。私たちの教会も、バザー本来の目的を幼稚園の子どもたちや保護者の皆様にご理解いただき、共有できることをとても大きなお恵みと考えております。

にもかかわらず、当日は肝心の場面で意志の疎通が十分でなかったり、不手際で食品が不足するなどの事態が起き、ご奉仕くださった保護者の方々にご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。その他にも、改善すべきことが多々あることと思っております。すでに幼稚園、教会双方で振り返りの機会をもってありますが、様々なご意見を集約して来年に向けての備えにしたいと考えております。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

チャブレン 下澤 昌